

# Taka Gikai

多可町議会だより  
2017年(平成29年)5月1日 第46号

# 輝



## 3月定例会

- ・若者が暮らしたい町を創る ▶2
- ・住民の同意のない計画はお断り!! ▶8
- ・こんなとない これどうなってるの 12人が一般質問 ▶10
- ・地域とのつながりを大切にしたい 足立美由希さん ▶26

写真:「1たす1は？」  
一杉原谷小学校1年生歓迎遠足一

## 地域とのつながりを大切にしたい

### 女性の防災士として



## 足立 美由希さん

中区安楽田在住

数少ない、女性の防災士の資格を取得された足立さんにお聞きしました。

☆なぜ防災士になろうと思ったか

防災関連の仕事に携わる中で「防災士」を知り、資格を取りました。東日本大震災で被災された人たちを見て、他人事には思えませんでした。ひとりの人間として災害時などに、私も何か役に立てることがあればと思います、資格の勉強に挑みました。

☆防災士の講習を受けて感じたことは

避難生活などをシミュレーションしたことが印象に残っています。避難所で必要なこと、ハード面からもソフト面からもまた細かい部分を考えることが必要だと感じました。そして、被災された人の気持ちにより添う活動も大切なことだと思いました。

☆女性の防災士として思うことは

特に自分の世代である20〜30代の女性の防災意識が低いといわれています。これからは啓発に力を入れながら、仲間を増やすことも考えていきたいです。私が、防災関連の仕事をしている中で、女性用や子ども用の備蓄品がまだまだ不足しているように感じます。今後、行政にも提案していきたいと思っています。

☆防災士として今後どのような活動を考えていますか

全国の防災関係の方々とのつながりを大切にしており、様々な情報を共有をしています。「備え」のイメージはできていますが、防災士としての地域活動は、現状できていません。しかし、今後防災訓練などにも参加して、地域とのつながりを深めたいと思います。

地域に溶け込みたいと目を輝かせて語られた足立さん。  
女性の防災士として、また地域のリーダーとして力を発揮して頂きたいと思います。  
(廣畑)

## 編集後記

5月5日の「立夏」を前にいよいよ新緑が眩しく、日差しの中にも夏を感じるこの季節になりました。

鳥羽にソーラーパネル計画が突如持ち上がり、集落をあげて反対運動が起こりました。

あらためて多可町の宝である「美しく豊かな自然」は意識して守らねば、簡単になくなってしまう「はかない」ものなのだと思います。2月にご逝去された河崎議員は、この美しい豊かな自然と調和を取りながら町を発展させるため誰よりもご尽力されておられました。

故人の意志をしっかりと引き継いでいきたいと思えます。ご冥福をお祈り申し上げます。  
(社)

# 若者が暮らしたい町を創る

3月2日から3月27日までの26日間の日程で、第75回多可町議会定例会を開催しました。

提案された予算案は、新庁舎建設（Ⅱ期工事）、中町南小学校北校舎等老朽改修工事、北はりま消防組合多可町内消防出張所整備事業、4・5歳児の保育料無償化などです。また、第2次多可町総合計画や第2次多可町住宅マスタープラン、多可町交通安全計画、多可町立幼稚園条例等を廃止する条例や福祉医療費助成条例の全部を改正する条例や、28年度補正予算案など45件が提案されました。慎重に審査した結果、すべて原案のとおり可決しました。

ます。



今日は楽しいお散歩だ

## 中町南小学校北校舎 老朽改修工事

1億4380万円  
北校舎の老朽部分を改修し、安全・安心な校舎として長寿命化します。また、体育館の照明をLED化にします。

## 子育て世代に やさしい町を目指して

4・5歳児の保育無償化  
4000万円  
キッズランドや認定こども園などに通う4・5歳児の保育料を無償にし

## 不育症治療費助成

75万円  
不育症治療による妊娠成功率は約7割と高いことから、経済的負担を軽減し、早期受診、治療を促進します。

## 安全・安心の街づくり

加美・八千代消防出張所  
24時間体制へ  
527万円  
多可町内での24時間体制の常備消防3拠点の早期整備に向け、加美区・八千代区へ消防車・救急車を24時間配備します。それに向けた出張所建て替えを計画します。



早期の24時間体制が待たれます  
—加美消防出張所—

## 活力と特色ある 地域を創る

元気な村づくり  
活動助成金  
1280万円  
絆づくり、多可の里づくり事業の終了に伴い、29年度からは新たに「元気な村づくり活動助成事業」をします。隣り合う集落や、同じ課題を抱え

る集落間で連携しての活動や、集落の「起業」に向けた活動に助成します。

## にぎわい復活 プロジェクト支援事業

50万円  
播州3大祭りの一つであるこんぴら祭りのにぎわいを取り戻します。



昔のにぎわいを取り戻そう  
—こんぴら祭り—

## 地域とともに 子どもを育てる

コミュニティ・スクール  
導入促進事業  
16万円  
地域と一体となって子どもたちを育てる「地域とともにある学校」を目指して、八千代小学校にコミュニティ・スクールを導入します。

## 学習システム導入

27万円  
インターネット上の問題データベースにアクセスし、個々に応じた学習

## 住みたくなる町 住み続ける町を創る

### 男女共同参画計画

策定事業  
358万円

男女がお互いに尊重しい、職場、学校、家庭、地域などのあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合う社会を目指す「男女共同参画計画」を策定します。



男女共同参画



あまごがいっぱいとれました —大屋絆づくり事業—

# 次の世代の基盤づくりを

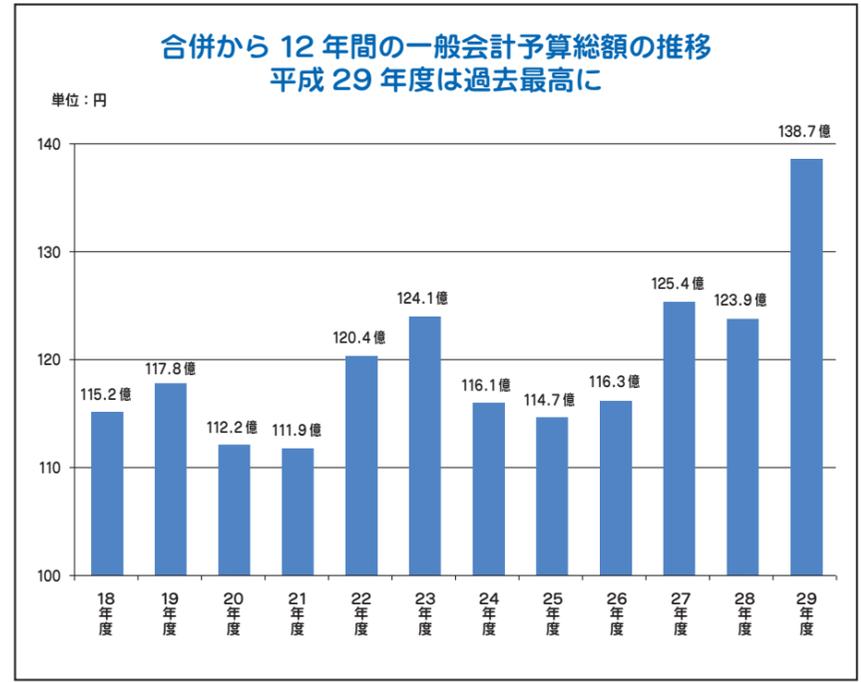
多可町の財政状況は、これまでの行財政改革の取り組みなどで、厳しいながらも徐々に好転してきました。しかし、新庁舎建設に伴う歳出の増大や、中長期的に見ると、人口の減少による町民税の減少や、地方交付税の減少、高齢化などによる社会保障費の増加などで、町の財政状況は大変厳しくなると予想されます。

限られた財源と人員の中で、将来にわたって安定した住民サービスを提供するためには、選択と集中による事業の重点化と、健全な財政基盤の確立をしなければなりません。

このような状況の中で、人口減少の克服を目指す「きらり輝くプラチナ戦略」の推進による地方創生の実現と、次の時代の

多可町の基盤づくりなど、未来への投資や、住民の暮らしやすさにつながる施策を実行するため、

議会では各施策を検証し、実現に向けて提言していきます。



**反対討論**

**新庁舎の総事業費が不明瞭**

安田 昇司

新庁舎の予算で、債務負担行為限度額を5億円も超えた額が29年度予算に計上してあります。このままでは、予算上で29億7000万円も新庁舎建設費として認めたことになり、新庁舎の総事業費が不明瞭のため、当初予算に反対です。

**工事費はくらなのか**

橋尾 哲夫

新庁舎建設費は、工事請負費16億5024万円と、管理委託料1億4360万円の合計17億9384万円になります。29年度分としては債務負担行為額の11億5500万円しか支払いできないと理解します。

**賛成討論**

**工夫を凝らした予算と評価する**

山口 邦政

消防出張所の24時間体制に向けた施設整備、子育て支援、創業起業支援等、工夫を凝らした予算と評価します。本庁舎整備事業の約16億円は工事請負契約と債務負担行為でガードが効いており、予算執行には議会承認が必要で問題ありません。

**苦心の跡がみえます**

藤本 英三

庁舎建設費の18億5000万円を除くと、昨年とほぼ同額の予算額です。町内の4・5歳児の保育料の無償化に4000万円、一集落年間20万円を上限とする「元氣なむらづくり活動助成事業」1280万円などの事業が評価できます。

# 臨時会 播州織の未来に向けて レベルアップ



町に200万円の寄付をする橋本理事長

第74回多可町議会臨時会が平成29年2月10日に開催されました。この臨時会には、訴えの提起や寄付金の受け入れ、正副議長選挙が議題となりました。

北播織物工業協同組合から、町に200万円の寄付がありました。議会では、この寄付金を契機に、200年以上の歴史と伝統を誇る播州織のイメージ向上と、地域の活性化に向けた様々な取り組みを展開するために「播州織振興基金」をつくることに同意しました。今後、播州織振興のために有効活用させていただきます。

## 第74回多可町議会臨時会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

清水俊博	辻 誠一	市位裕文	草別義雄	河崎 一	廣畑幸子	日原茂樹	橋尾哲夫	吉田政義	山口邦政	大山由郎	藤本英三	安田昇司	笹倉政芳
-	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席。  
清水俊博議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

**契約期間満了後は返して**

大和地区にある滞在型市民農園ブルーメンやまとの契約に関して、町が訴えの提起をします。これは、5年の契約期間終了後も引き続き利用されている人に引き渡しを求めるものです。各議員の賛否は左表のとおりです。

款	2月補正	3月補正	補正後の額
議会費		△92万円	9938万円
総務費	196万円	△1億3050万円	18億8598万円
民生費		△8573万円	30億1836万円
衛生費		△2744万円	8億628万円
農林水産業費	38万円	△1億6353万円	10億4392万円
商工費		△936万円	1億9037万円
土木費	199万円	△1億238万円	9億8085万円
消防費		△3082万円	6億5538万円
教育費		△5576万円	12億7284万円
公債費		△1500万円	17億9970万円
諸支出金	200万円	△9307万円	9201万円
歳出合計	633万円	△7億1454万円	119億4868万円
特別会計		△1億8928万円	73億8586万円

\*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

**28年度2・3月補正**

**えっとないなっとな ぐるさと応援寄付金**

△9500万円

27年度は1億3000万円のふるさと納税がありました。28年度は1億7350万円を目指していましたが、各自治体間の返礼品の過当競争もあり、大幅な減額となりました。

# 両キッズランド 公私連携型民営化に向けてスタート

キッズランドかみとキッズランドやちよを公私連携型の民営化にするため「多可町幼稚園条例」「多可町立キッズランド条例」「多可町保育所条例」を廃止します。施行は2年後の平成31年4月1日からです。

**問** なぜ今条例の廃止を決めなければいけないのですか。

**答** 県への届出には議決が要ります。議決が無いと、公募はできません。予定は、29年度に公募、法人を決定、30年度に法人から保育教諭を派遣、そして、31年度に民営化実施の計画なので、移行には2年はかかります。

**問** 保護者の疑問や不安などに対処するため、説明会は複数回開かれています。しかし、小さな子どもをお持ちの保護者です。説明会に行きたくても行けなかった保護者も多いのでは。

子どもをお持ちの保護者です。説明会に行きたくても行けなかった保護者も多いのでは。

**答** メールなどでもご意見を頂けるようにしていますので、対応はできています。

**問** 受ける事業者にも、もしもの事があつた時は、認定取り消しもあり得るのですか。

**答** 万が一のことが無いように、運営実績がある法人をしっかりと選定します。

**問** 協定書はお互いが話し合うのが基本ですが、どのように作るのですか。運営に関する事、立入検査、第三者評価、勤告などの文言は入れるべきではありませんか。

**答** 協定書はしっかり考えて作ります。公私連携なので、この協定書を守る

つてくれる事業者でないことを選びません。

協定書とは・・・当事者間（この度は町と福祉法人）の取り決め事項を記載した書類のことです。

## 反対討論

もつと時間をかけて進めるべき

廣畑 幸子

幼稚園等廃止条例の施行は2年後です。しかし2年しかありません。もつと時間をかけて説明をし、不安を抱えている保護者の皆さんだけで無く、現場で働く先生方の不安をもっと解消すべきです。慌てず時間をかけて進めるべきです。

幼児期の保育は大切

草別 義雄

「三つ子の魂百まで」ということわざのとおり、3〜5歳児の保育・教育は大切なことです。幼児期の保育・教育は20歳になっても50歳70歳になっても人生の礎になると思っています。大事な時期の子育てを町立で続けるべきです。

## 賛成討論

民ごころのことは民で

日原 茂樹

国や県の支援を有効に受けることを視野に入れながら、民間の力を活用した教育・保育事業の展開を目指すものです。多様化するニーズに柔軟かつ積極的に町が対応できる「公私連携幼保連携型認定こども園」を積極的に推進すべきです。



ボール遊び楽しいね  
ーキッズランドやちよー

## 地元に無償譲渡

「多可町集落営農施設条例を廃止する条例」と「町有財産の無償譲渡」は、山寄上の集落営農施設に関するものです。

この施設は、平成19年に「辺地対策事業」で建設しました。今までは指定管理施設条例に従って管理していました。

今後は、ニーズに沿って、より使いやすい状況を作るため、地元は無償譲渡することになりました。



山寄上営農施設

## 現状を考へての改正弱者には配慮も

多可町福祉医療費助成条例の全部を改正する条例は、今まで老人医療の対象だった65歳〜69歳を対象から外すものです。

「高齢期移行者」に位置づけ、その多くが現役並みに働いていることから、老人扱いをやめるということになります。

ただし、住民税非課税者でかつ要介護2以上の人は助成が受けられます。

## 反対討論

高齢者いじめには反対だ

辻 誠一

65歳から69歳までの人を「高齢期移行者」と位置付けるのはいかなるものか。体の状態は様々で、要介護では無いまでも仕事は無理という人もいます。敬老精神に反する改正には断固反対です。

## 賛成討論

低所得者には配慮も

笹倉 政芳

所得が無い人や、一定の所得以下で身体的理由から日常生活が無理な人は今後助成が必要で「要介護2」以上は現在の扶助を残し、また経過措置も設けた高齢期移行助成事業を創設。この改正は十分理解できます。

## 平成31年3月31日に「わかあゆ園」から脱退

「わかあゆ園」は、加東市滝野にある施設で、身体障がいや発達障がいなどの子どもが通う療育施設です。

多可町内には、いろいろな機能を持った発達障がいや支援する施設や、障がいのある子どもが社会的に自立できるよう取り組む「治療」と「教育」ができる施設が充実しています。

また、町内の保育所、こども園などが障がい児の積極的な受け入れに取り組んでいるため、母子通園を原則とする「わかあゆ園」を保護者が選択しなくなったなどの理由から、ここ数年「わかあゆ園」への通園者がありませんでした。今後も利用者が見込めないで「わかあゆ園」から2年後に脱退することにしました。

第75回多可町議会定例会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

番号	案 件 名	清水俊博	辻 誠一	市位裕文	草別義雄	廣畑幸子	日原茂樹	橋尾哲夫	吉田政義	山口邦政	大山由郎	藤本英三	安田昇司	符倉政芳
議案第4号	平成29年度兵庫県多可郡多可町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	多可町集落営農施設条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	町有財産の無償譲渡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	多可町立幼稚園条例等を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	平成28年度兵庫県多可郡多可町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	多可町課設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○印は賛成、×印は反対。清水俊博議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

## モデルとして残すべき

草別 義雄

施設を廃止せず、農業振興のモデルとして残すべきです。農家は、高額な農機具や農業倉庫の購入・更新に悩み苦しんでいます。多可町全域に町が投資する営農施設を増やすべきです。

# 計画はお断り！！

# 住民の同意のない

## え？パネルが民家をとり囲む

昨年末、加美区鳥羽の閑静な別荘地である「四季の里」に受け入れがたい計画が持ち込まれました。

この別荘地には、遠方からの来客も多い整体院と、地域で音楽活動などに汗を流す、Iターン住民が四季折々の景色の変化を楽しみながら暮らしておられます。

昨年の暮れ、この別荘地に、ある業者が訪問。訪問理由は「少し木を切らせてもらっても良いですか」というもの。

なんでもこの地にソーラーパネルを設置したいのだとか。

年が明けて、今度は違う人物が書類を一枚携えて訪問。「この同意書に判子をお願いします」といったい何が起ころうとしているのか、全く事

情の分からない当事者や鳥羽では、この業者に急きょ地元説明会の開催を要請されました。

2月に開催された事前説明会で明かされた計画は「四季の里」の空いている区画のすべてがソーラーパネルで覆い尽くされるというものでした。

## 規制できるルールが必要だ

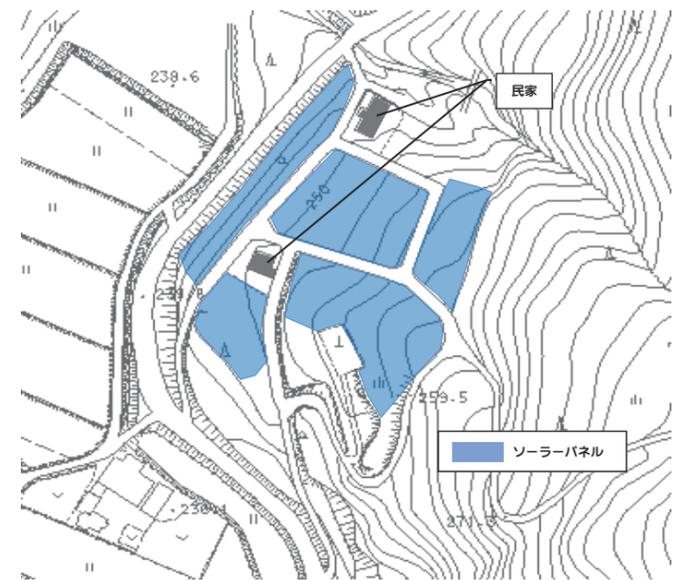
示された計画にびつくりした当事者から、「こんな計画認められたのですか」と多可町に連絡。

多可町からは「町にはこの規模の土地利用に関して一切の許認可権がなく、苦慮しています」との回答。

そこで規制のできるルールの策定をお願いしようと、開会中の議会に話が持ち込まれました。

## 条例制定権は議会にもあるが…

話を持ち込まれてからの議会は忙し。新年度の予算審査もしつつ、持ち込まれた案件の背景も調査。13人の議員が一丸となって「四季の里」の環境を守りたいという鳥羽の皆さんの願いに、どうすれば寄り添うことができるのかと「早急に規



民家をとり囲むように計画されたパネル  
—鳥羽 四季の里—

## 国にしっかりと対応を求め

そもそも国がソーラーパネルを「建築物」から除外したことが、一万平方メートル以下はほぼ無規制状態になっている原因です。

そこで議会では、まずは国に法整備を求めるところにしました。同時に、他の法令や県条例との整合性をとりながら、できるだけ早い時期に町条例を議会に提案するよう町に求めました。

## 自然環境に配慮は必須だ

意見書・決議の提案にあたり生活環境常任委員会では「太陽光発電施設の設置」に関して、地域住民や集落への十分な説明と、理解を得るのは当然であり「景観・自然環境」に配慮した設置が必須だと指摘しました。意見書・決議をそれぞれ全員賛成で可決しました。

## 賛成討論

### 地元の白紙撤回を支持する

山口 邦政  
鳥羽の太陽光発電計画は、2世帯を取り囲む計画で、地元も白紙撤回を求めています。

議会としても地元を支持し、他所でこのような事案を起こさせてはならないという思いから、町条例と国による法整備を望みます。

### 住民の理解のない事業には規制を

廣畑 幸子  
再生可能エネルギーは、自然破壊や住民の生活環境を破壊してまで導入するものではありません。住民への、しっかりと説明や理解なしに仕事をさせてはなりません。豊かな自然を守り、安全・安心を守るための条例が必要ですよ。

## 太陽光発電について、自然と住環境との調和を求める意見書

太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入は、持続可能な社会づくりに対して有効な手法です。しかしながら再生可能エネルギーの導入は、あくまでも「安全、安心の住みよいまちづくり」に寄与し、自然環境・生活環境の保護や災害リスクをなくす必要があります。

「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」の制定により、太陽光発電所の設置が急速に進み、住宅近接地での開発・里山の造成など、自然環境・住環境との調和を損なう事例も出てきています。

また、都市計画法や建築基準法が適用される構築物とみなされないことから、斜面の造成に対する危険性や、建ぺい率にかかわらず隣接地際まで太陽光パネルが敷き詰められるといった実態もあります。また、自治体としても国の認定内容について把握できないケースもあります。

こうした事態を放置すれば、事業者と近隣住民との間でトラブルが発生することにつながり、再生可能エネルギーの普及に大きな影響を及ぼしかねません。

よって、国におかれては、太陽光発電の整備において、事業者と自治体・住民の間で住環境・自然環境・景観との調和の取れた形での推進となるよう、下記のとおり要望する。

記

1. 太陽光発電の推進にあたっては、関係自治体や関係自治会・関係住民への説明を義務付けること。
2. 景観・生活環境への環境評価を行う等、自然や住環境、都市計画と調和した形で推進するよう法整備を行うこと。

生活環境常任委員会より提案された  
国への意見書

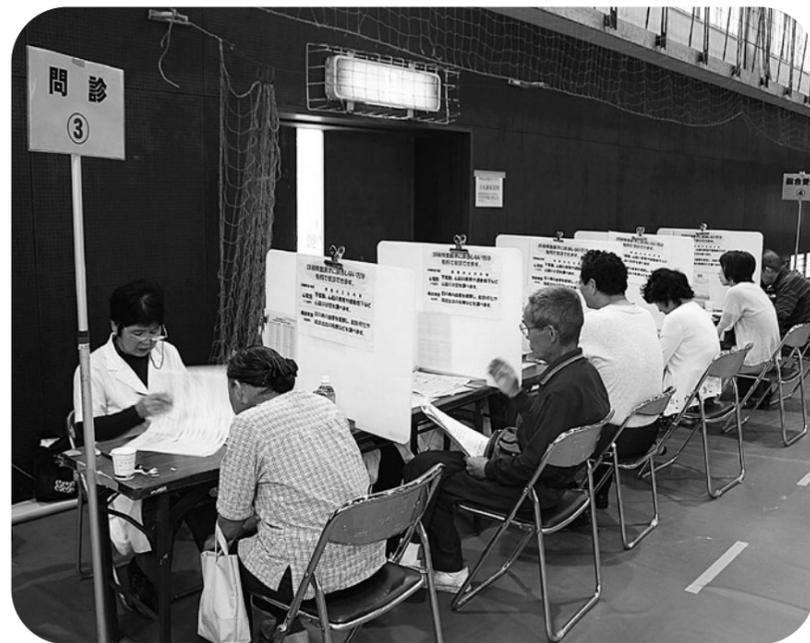


大山由郎議員

問 健康対策を強化せよ
答 目標を設定し取り組む

③ 地域社会、経済状況の向上を目指すべきです。住民の健康への意識の向上を目指すべきです。

大山 ① 自助努力の促進をする「健康ゴールド免許」が話題になってい... 定期検診を受けるなど「健康管理ができた人と、健康管理ができず、病気になる人が同じ自己負担では不平等だ」ということですが、管理ができた人の負担を減らし、できなかつた人の負担を減らさないなど「病気になるってしまったという結果だけで差をつけるべきではない」と思いますが。



住民検診受けてくださいね

違いによる集団間の健康状態の差を「健康格差」と言います。経済的な問題を抱えている人たちがほど健康状態が悪いといわれています。「健康格差」を生み出さないため、まずは正するための町の取り組みは。

町長 ① 定期検診の病気の早期発見と医療費の抑制や、皆さんの健康生活につながることから、受診率の向上に努めています。また、社会経済的要因が生活習慣病のリスク因子であるといわれる中で、

病気になるたという結果だけで「安易に差をつけるべきでない」と思いますが。② 「健康マイレージ」などの活用は、健康に無関心だった人へのきっかけづくりなどには有効だと思います。町では各行事への参加、歩数の記録などでポイントをとるため景品をゲットする「スポーツデイ」を実施しています。また、「健康保養地事業」でも、参加者へのポイント加算を検討しています。③ 健康を守ることは自分の課題だという認識を持つことも大切です。そして、長期・中期・短期、それぞれの目標を設定し、根拠に基づくマシメントをしていくことが「健康格差対策」と考えています。

こんなಂದないこれどうなってるの



3月定例会での一般質問は、3月16日と17日の2日間にわたって12人の議員が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、紙面の都合上カットしている質問があります。

全文は 多可町議会

検索



Table with 3 columns: 質問議員 (Questioner), 質問要旨 (Question Summary), 掲載ページ (Page Number). It lists 12 council members and their specific questions regarding health, culture, and infrastructure.



安田昇司議員

問 丹波市図書館との登録協定を  
答 4月から図書カードの登録はじまる

安田 丹波市との文化・スポーツ交流が積極的  
に展開できないかと思う  
中で、特に図書カードの  
お互いの登録の協定はで  
きないですか。多可町図  
書館は以前から丹波市の  
人の登録も認めています  
ので、お互いが登録でき  
ると本当に大きく交流が  
前進すると思います。  
合わせて、他にも文化  
・スポーツの交流ができ  
るようになればと考えま  
すが、教育長の見解を求  
めます。

教育長

図書館では、相互に貸し出しが利用できる地域として北播磨の5市1町、東播磨の3市2町の合計8市3町と協定を結んでいます。その後丹波市の教育長へ、トンネルも開通して丹波市と多可町の距離が非常に短くなっている  
ので早急にお願いたしたいと申し入れていました。  
この3月に「大変遅くなりましたが、4月から

登録可能にさせていただ  
きます」との連絡を受け  
ています。  
次にスポーツの分野で  
は、バレーボール、少年  
野球、中学校の部活動の  
大会などで交流していま  
す。非常に便利になりま  
したので、度々丹波市へ  
も参加をお願いしていま  
す。  
朗報として、28年度か  
ら中学生の女子親善ソフ  
トボール大会は丹波市か  
ら4チーム、篠山市から  
も3チームの参加をいた  
だき参加数が増えました  
今後も推進に努めます。

問 4割削減を  
目標値に

安田 町営住宅384  
戸、県営住宅21戸があり  
いわゆる公営住宅が40  
5戸あります。住宅マス  
タープランでは、4割削  
減を目標数値とし、当面  
は建て替えを抑制し、長  
寿命化などの改善工事で  
老朽化による事故を未然



計画的に補修している町営住宅 一下三原団地一

に防止すると書いてあり  
ます。  
具体的には、どのよう  
に改善するのですか。  
財政面は大丈夫なので  
すか。

答 231戸が  
適正だと考える

定住推進課長

住宅マ  
スタープ  
ランおよび上位計画の総

合計画から、231戸を  
適正な住宅数として問題  
ないと考えています。  
財政面からは、国補助  
金を受けて町財政の負担  
を軽減して実施します。



橋尾哲夫議員

問 フェニックス共済の加入促進を  
答 区長会などを通じ加入啓発する



町内に20カ所になる予定の案内板

橋尾 兵庫県住宅再建  
共済制度フェニックス共  
済の加入率が、12町の内  
11位。他の町より相当低  
く不安です。  
まず、町職員の加入率  
を把握し職員の意識向上  
を目指せ。  
町長 役場職員の加  
入率を調査しま  
す。  
区長会の会議を通じ、

地震の怖さを意識しても  
らい、フェニックス共済  
の加入を促します。  
問 多可の里風土記  
案内板の設置を

町長

25年度より歴  
史街道推進協議  
会では、設置場所や設置  
場所優先順位を決めてい  
ます。  
年間3基から4基の案  
内板を、各歴史遺産ごと  
に設置しています。

答 3基から4基を  
設置している

町長

29年度は公募  
美術展を再開する

各集落に多可の里風土  
記の案内板を設置すると  
わが故郷の誇りを持つこ  
とができます。

答 29年度は公募  
美術展を再開する

生涯学習課長

29年度  
は文化連  
盟の協力で実施に向けて  
予算措置します。  
育成事業としては、わ  
くわくベルディー事業・  
アウトリーチ事業などに  
取り組んでいます。  
高校生には、多可高校  
観賞事業があります。

問 文化芸術の  
振興策は

町長

毎年恒例の公募  
美術展が中止となりました。  
29年度は再開し、文  
化連盟の公募美術展が重  
荷にならない支援体制を  
取るべきではありません  
か。  
ベルディーホール事業  
の中に、子どもの育成事  
業を取り入れてはどうで  
すか。



廣畑 幸子議員

**問** 町独自の子育て施策は続けるべき

**答** 4・5歳児を無償化するのが限界

**廣畑** 29年度から4・5歳児の保育料無償化が始まります。現在幼稚園保育料は給食費教材費を含め、3歳児は1万円、4・5歳児はともに8000円です。無償化になると、4・5歳児ともに給食費などの4000円になります。また保育所保育料は、短時間認定（8時半～16時半）は4000円、標準時間認定（7時半～18時半）は5000円になります。財政の厳しい多可町ですが、近隣市町と肩を並べ、無償化をスタートさせることは必要なことです。しかしその反面、町独自の18歳未満の子どもが3人以上いる時、3人目以降の子どもの保育料を3分の1にする制度を29年度は経過措置として3分の2に、そして30年度からは廃止されようとしています。このことが若い世代にどのような影

響するの心配です。ぜひ続けるべきです。  
**教育長** 若い世代の皆さんに住んでいただける町を目指して、子育てを応援することは重要な施策です。この考えは、平成27年10月策定の「多可町きらり輝くプラチナ戦略」でも重点施策の一つとして位置付けています。そんな中、子ども子育て会議で4・5歳児を無償化にし、かつ3分の1施策も続ける事は財政上難しいと判断しました。30年度から廃止したいと考えています。



町の宝の子どもたち すくすく育て！  
—キッズランドかみー



山口 邦政議員

**問** 豪雪時の対応は十分だったか

**答** 地域防災計画の見直しを検討

**山口** 今年の冬には大雪警報が度々発令され、1月には50年ぶりの大雪を経験しました。  
①今回の豪雪時に役場としての対応は。  
②豪雪での被害状況は。  
③地域防災計画の中に豪雪対策計画が必要では。  
④豪雪時、除雪計画を拡大して対応すべきでは。  
⑤豪雪時には、集落や消防だけの対応に限界があるのでは。  
⑥集落や個人での除雪機械の購入に、補助金などの支援が必要では。  
⑦大雪の警報が出た時の小中学校の対応は、全町一律で良いのか。

①緊急の対策会議を開催し、公共交通対策、除雪対策、救急消防体制の確認などの情報共有をに対応しました。  
②パイプハウス8カ所、畜産施設1カ所の被害が発生しました。公共施設でも、9カ所の被害を確認しています。  
③計画の中の豪雪対策は十分ではありません。今後マニュアルの作成も含めて見直します。  
④現在の除雪計画は、氷点下になる恐れがある時には道路の確認パトロール、積雪が5センチに達したら午前5時から凍結防止剤の散布や除雪をしています。県の土木が国



数十年ぶりの大雪でてんてこまい

道・県道の除雪を発注している業者に委託していますので、除雪範囲を拡大することは難しいです。  
⑤今回のような豪雪時には限界があります。災害時応援協定に基づき、建設業協会にお願いするしがあります。  
⑥除雪活動支援金制度がありますが、今回のような豪雪を経験し、充実さ

せる必要を感じています。  
**教育長** ⑦警報時の対応は、町内の小中学校では、午前7時の時点で警報発令されている場合は自宅待機、そして午前9時の時点で引き続き警報が出ている場合は臨時休校としています。今後の豪雪時には教育委員会と各学校が調整し、学校単位での判断も検討していきます。

**問** 地域おこし協力隊の採用は

**答** 地域おこし協力隊の採用が1名のみで、なかなか増えませんが、  
**答** 4月か  
**地域振興課長** らは2名  
になります。今後は、U  
ターン者の応募も可能に  
します。募集の職種も増  
やし、採用者の増につな  
げます。





市位 裕文 議員

**問** 落札価格が高すぎる  
**答** 適正な価格である

**市位** 落札価格が高止まりしていませんか。例えば、文化会館トイレ改修の工事は、参加9社の内の7社が2〜300万円が入札し、最低価格405万円以下で失格です。結果435万円と200万円近くも高く落札されています。安全性などに問題なければ、最低価格の設定自体を見直す必要があると考えますが、見解を聞かせてください。

**技監** 予定価格および最低制限価格に対して入札された額に開きがありますが、適正な執行に基づいた結果であると認識しています。平成20年から最低制限価格制度及び低入札価格調査制度を設けて入札を執行してきました。「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」などにより、工事の品質確保とダンピング受注防止が求められ



緊迫感の持てるサイレン音に

ています。130万円以上1億円未満の工事または、製造の請負に関する契約に対して最低制限価格をもうけています。制度の適正運営が重要だと考えています。今後、も適正な入札執行を進めます。

**問** 消防救急体制の強化を急げ  
**市位** 2月6日の建物火災で、2人の尊い人命が失われました。夜中にサイレンが鳴りましたが、分かりづらい、聞こえづらいと感じました。改善策を聞かせてください。

**答** 加美・八千代でも24時間体制にする  
**町長** 町内にある消防救急の3拠点の整備を急ぐため、29年度予算で提案しています。30年度中には、開設予定で

さい。高齢化が進み、安全・安心を守る消防救急体制の整備も急務です。整備状況は。

**生活安全課長** サイレン吹鳴は改善しました。中区で発生した火災時のサイレンで、改善されたことの確認をいただきました。



草別 義雄 議員

**問** 補聴器購入補助の支援を  
**答** 暖かい福祉の対応をする

**草別** 年老いて自然に聞こえ難くなる難聴者の生活の支援として、補聴器の購入の補助をしていただきたいと思います。聞こえなくなり、家族や友人との意思疎通がしにくくなると「言った」「言わない」のトラブルまで起きるといわれています。年老いてなりやすい難聴を助ける補聴器は、老人福祉に必需品とされています。年老いた多くの人の難聴が、少しでも改善できるような良くなってほしいと思います。支援を講じていただけませんか。

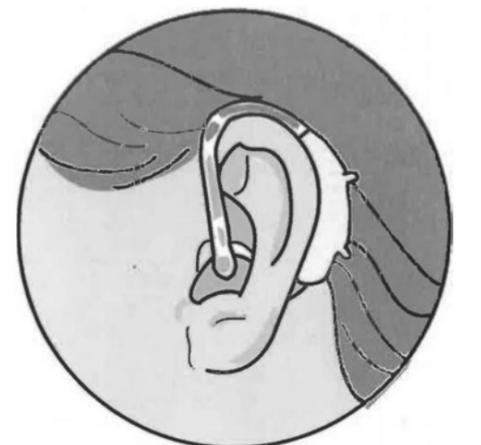
**町長** 人は加齢とともに一般的には聴力が低下します。難聴の進み具合は、個人差はありますが、高齢社会の進展で聞こえの不十分な高齢者が増えてきているのは事実です。高齢者、老人性難聴の人の生活を維持するためにもコミュニケーション

を円滑にする方法を提供していくことが大切な時代です。障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律、障害者総合支援法の第76条の規定による補装具費の支給など、聴覚の障がい者を対象として補聴器の購入に助成があります。聴覚の障がい者で身体障害者手帳をお持ちの者を対象として購入に対する一部助成を実施しています。障害者手帳をお持ちでない人が窓口に来られた場合は、必要に応じて身体障害者手帳の取得を事務サイド、窓口で推奨をしています。聴覚の障がい者は、見た目では判断がつきにくい障がいであるといわれています。聞こえないこと聞き取りにくいことが他の人に分かりにくい部分が多いために、常に不自由さと、同時に危険性も伴っているかと思

います。その辺の背景を十分に理解しながら暖かい福祉の対応をしていきたいです。



耳あな型補聴器



耳かけ型補聴器

出典：(公財)テクノエイド協会「福祉用具シリーズvol.19」



笹倉 政芳議員

問 多可町に高速道路を  
答 実現に向けてやり切る

**笹倉** 年頭に集う会で商工会会長は、「高速道路もJRの駅もない町・多可町」から脱却すべきと挨拶されました。地元選出の国土交通大臣政務官は常々、山陽自動車道三木ジャンクションと中国自動車道社パークینگを繋ぎ、さらに北上して日本海と結ぶ道をつくることで、人と物の流れが生まれ北播磨を繁栄させることができると話されています。人口約2万人の多可町と150万人の神戸市を結ぶ高速道路を通すことは、多くの多可町民の願いであり、我々も代議士、地元県議員と連携し、今すぐにも行動すべきと考えます。

町長

高速道路の整備は、移動時間の短縮による行動圏の拡大と、商工業、農林業、観光など地域の活性化につながると思います。実現は長期になるかもしれませんが、次の代を見越

しての活動をしていきたい。今後、県とも調整をしながら検討し、また地元選出の代議士のご指導も仰ぎ、横調整をしながら前向きに臨みたい。夢にはいかんと思いつつ、いかに実現に向けてやり切るかの姿勢で私は臨んでいきたいと思えます。



多可町から一番近いパーキング 中国道社P A

問 危険空き家を  
増やすな

**笹倉** 定住コンシェルジュをリーダーに、多可町空き家再生プロジェクトなる組織を立ち上げ、古民家を改装し体験入居できる場や紹介物件の充実をと考えます。多可町には地域資源が

豊富にあり、新たな起業移住者の募集や、商工会の「仕事百科事典」などを通して仕事の紹介もできます。「危険空き家」を増やさないためにもスピード感を持って取り組むべきです。

答 活動を  
支援する

定住推進課長

多可町空き家再生プロジェクトのような事業展開を期待しており、活動を支援していきます。古民家改修は、新年度で空き家活用支援事業を予算化しています。多可町に移住を希望される人の決意は行政サービス全てに対する評価の結果でもあります。定住推進課では、引き続き各課や商工会とも連携をとりながら、情報の発信に努め支援していきます。



吉田 政義議員

問 観光大使の任命を  
答 観光交流協会と連携し進める

**吉田** 町の豊富な観光資源、物産などを広く紹介し、PRするとともに町への提言や提案をしていただき、観光を中心とした産業振興および地域振興を進めることを目的に多可町観光大使を募集してはどうでしょうか。特別難しいことをするのはなく、町の情報をもとに、できる範囲での活動をすればよく、各分野を通じて多可町にゆかりのある人、好きな人にご協力をいただきます。豊かな自然と歴史文化に育まれた多可町の観光宣伝や地域振興を目的として、対外的に自らの地域を広報する観光大使を任命してはいかがでしょうか。

して、一定の広報活動をし、情報の受発信をします。シンポジウムやイベントなどと連動し、多可町の地名や観光をアピールする象徴的な役割を担っていただきます。観光大使の任命について町長の見解を聞きます。**町長** 平成22年3月多可町に多可ふるさと夢大使を制定しています。多可町のファンを増やし、盛り上げる任務を担って全国に発信していく人を任命。任務としては①自然環境、観光、特産などの町の情報をPR、発信。②都市部住民や組織、その他との交流促進としての橋渡し。③町に愛着をもつこと、愛着をもつ人を増やすことです。この制度は、町に入ってきた、活躍をされた、出て行かれた人に期待するものですからうま



有楽町駅前多可町を売り出し中

く機能しませんでした。この夢大使を母体にして、もう少し大きく捉えた観光大使の任命は意味があると思います。観光大使の任命、方法、時期

人数などは、観光交流協会と連携をとりながら、夢大使制度を見直し、観光大使として幅広く取り組んでいきます。



辻 誠 一 議員

**問** 住民無視の計画を認めるな  
**答** 地元と一緒に押し返したい

**辻** 鳥羽の別荘地で民家を取り囲むように太陽光パネルが設置されようとしています。こんな非道が許されてよいのでしょうか。設置箇所はすばらしい景観をつくり出してきただけでなく、この地を風から守ってきた防風林です。それを全部伐採し、新たな宅地開発許可を避けるため、一切切り土や盛り土をせずにパネルを設置。これでは、少しの風でも風にあおられてパネルが飛散するのではないかと心配するたに斜面が崩落するのではないかと心配せねばなりません。町には何ら権限がないからといって、勝手放題を許すのですか。

多可町には「豊かな自然に囲まれた、多可町の環境を守る」ことを目的とする環境保護条例があります。

今こそ、この条例の理念を生かし、開発業者に

この地での開発行為を断念してもらえよう働きかけるべきではありませんか。

**町長** 当事者から一番先に私に連絡があり、すぐに担当に現地を見に行かせました。幸い、地元集落の反対意思も堅いので、集落と一緒に反意を示して抵抗する方法しかないのかなと判断しています。

**辻** まず業者にどのような工事を計画しているのか、どういう事業形態なのかを聞き取るべきです。また、別荘地として開発許可を出しているのだから、ソーラーパネルで埋め尽くし太陽光発電所として使うなら、新たな開発申請を出すよう指導すべきではありませんか。

**町長** 新たな申請が必要かどうか、顧問弁護士とも相談をしています。何とか押し返



この景色を守らねば… —パネル設置予定地—

したいとは思っていますが、難しいということもご理解をいただけたらと思います。

新議長に清水俊博議員

故河崎一議長の辞職に伴って議長選挙を実施しました。新議長には清水俊博議員を、副議長には辻誠一議員を選出しました。



副議長 辻 誠一  
議長 清水俊博

議長あいさつ

このたびの臨時会におきまして、議員各位からご推挙をいただき、議長に就任いたしました。私自身この上ない光栄であり身の引き締まる思いであります。

議会は、執行部とは

非々の関係を保ち、チェック機能を持つ機関として、住民目線で公平・公正な議会運営を通じ、住民福祉の向上と町勢発展のため努力していかねばなりません。

「選ばれるまち多可町」を目指し、議会と執行部は、いわゆる車の両輪のごとく連携・協力して住みよいまちづくりを推進していきたいと考えております。

今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。議長就任のごあいさつとさせていただきます。

総務文教  
常任委員会

委員長	日原茂樹
副委員長	吉田政義
委員	山口邦政
委員	橋尾哲夫
委員	廣畑幸子
委員	草別義雄

生活環境  
常任委員会

委員長	笹倉政芳
副委員長	安田昇司
委員	藤本英三
委員	大山由郎
委員	市位裕文
委員	辻誠一

次回  
6月定例会日程  
平成29年  
6月6日  
6月23日の  
予定です。

請願の締切日は  
平成29年  
5月22日です。



再び光の当たる古民家

# 動き出した 空家の活用

生活環境常任委員会

町は、28年度移住定住を促進するために、Iターン者のご夫婦を「定住コンシェルジュ」に任命。委員会として定住コンシェルジュの話を聞きました。

定住コンシェルジュからは「今のところは、移住を求めて来られる人の相談に乗っています」「29年度には、空き家の再生を手がける団体の設立を目指します」とのこと。

とても明確なビジョンを持って、定住促進に取り組んでもらっていることが分かりました。

ただし、問題も。定住コンシェルジュの位置付けがしっかりしていないので、何かしやうとする度に役場と相談、協議をしてからになります。

委員会では、定住コンシェルジュの思い描いているビジョンを実現することが、空き家の利活用にもなり移住者増加にも

つながることから、一定額の予算と権限の一部を譲渡してどうかと町に申し入れました。

町は、移住定住の応援サイトを設置しましたが、議会も移住された人の想いや意見を聞いて、空き家の利活用、定住促進につなげていきます。

## 豊部バイパスの 早期実現に向けて



この杭まで道になります

- 問** 町道豊部35号線道路改良工事(豊部バイパス)の今後の予定は。
- 答** 道路の計画が確定次第用地測量をし、その後ロック別現地説明会を開き、物件補償および用地買収契約を進めます。
- 問** 豊部集落への説明は。
- 答** 1月30日に、地権者に平面図を提示して説明をしました。
- また要望も取り入れて、東側に歩道ではなく農作業スペースを設置した計画です。
- 問** 用地契約の予定は。
- 答** 用地契約は同時に進めます。用地買収や物件移転などは、1カ所でもできなければ進められません。買収には約1年かかる見込みです。
- 問** 完成時に、加美地域局前に信号機の設置を考えていますか。
- 答** 近くに加美中学校前に信号機があるので、新設は困難であるといわれています。しかし、交通量が変わるので今ある中学校前の信号機の移設も要望していきます。

## 公共交通の取り組みを学ぶ

総務文教常任委員会

### 京丹後市の取り組み

総務文教常任委員会は、公共交通施策の取り組みを研究するため1月27日に京丹後市を視察に行きました。

京丹後市は、平成16年に、峰山町、網野町、久美浜町、丹後町、大宮町、弥栄町の6町が合併して誕生した市です。

人口は約5万7000人、面積は501.4平方メートルです。多可町の人口、面積とも約2.5倍です。

少子高齢化が急激に進む中で、住民の足の確保をどうするかが、合併当初からの大きな課題でした。

### 2000円バス

平成17年に、バスの運

賃をこれまでの区間最大1150円を、一律2000円で実証運行を開始し、翌年市内全域に広げられました。

2000円バスは、平成18年から6年連続で利用者増となっています。利用者数2.3倍、運賃収入30%増になり、補助金は1800万円も減っています。

その成功が近隣の市町にも広がり、宮津市、伊根町、与謝野町に2000円バスが拡大しています。

### 乗合タクシー

タクシー空白地帯の旧久美浜町と旧網野町での移動手段の確保です。

EV乗合タクシーによる「一人の輸送サービス」と「モノ+サービスの新たな輸送サービス」で、

買い物代行、見守り代行、図書館代行、病院予約代行、小荷物輸送サービスの5つのメニューから選んで利用できます。

人の輸送サービスは、自宅の玄関から病院、駅、スーパーなどへ行けるシステムです。

小荷物輸送サービスは、運転手が忘れ物・農作物・衣類など少量の荷物の輸送を代行するシステムです。

高齢化社会が進む中、多可町でも検討が必要なサービスです。

### ささえ合い交通

平成28年5月から「ささえ合い交通」が導入されています。

利用者がUber社のシステムを活用し、対応可能な地元住民ドライバーに、希望する目的地までマイカーに同乗させてもらう取り組みです。

### 多可町の今後に向けて

多可町は鉄道がなく、民間の路線バスとコミュニティバスが各地域で運行されています。町内全域は2000円、西脇市へ出ると3000円です。

多可町でも、高齢化社会の中で既存の公共交通網から離れた地域の移動手段の確保が課題となっ

ています。

今後いかに地域の足を確保するのか、ICT(情報通信技術)の進歩なども見据えながら、委員会としても検討していきます。

京丹後市 地方創生型 通称:丹タク

# EV乗合タクシー

ご予約制

ご自宅の玄関先から病院・駅・スーパーへ。EV乗合タクシーに停留所はありませんので、対象地域内ならどこへでも、安心・安全・快適に目的地までご案内します!

乗車できる地域

乗車できる地域

網野町全域 久美浜町全域

京丹後市全域 豊岡市内の市街地周辺

通院や買い物お出かけの時はお気軽にご利用ください!